（別紙4）　平成　26　年度

# 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

| | | | |
|---|---|---|---|
| 事業所番号 | 1970101554 | | |
| 法人名 | 株式会社ユニマットそよ風 | | |
| 事業所名 | 甲府ケアセンターそよ風 | | |
| 所在地 | 甲府市富竹3－3－5 | | |
| 自己評価作成日 | 平成26年11月27日 | 評価結果市町村受理日 | |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

| | |
|---|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaigokensaku.jp/19/index.php |

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|---|---|
| 評価機関名 | 山梨県社会福祉協議会 |
| 所在地 | 甲府市北新1－2－12 |
| 訪問調査日 | 平成27年2月19日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ご家族様の介護負担軽減を図る目的で、内科・皮膚科の往診をしていただいている。また必要な方には職員付き添いの精神科受診もしており身体の変化に迅速に対応している。
職員一同、入居者様の意思・意向を受け入れるようにしています。安心・安全に日々過ごして頂けるように努めている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

事業所の近くには、美術館や文学館がある。また、コンビニエンスストアーやスーパーマーケットなどの商店が点在して生活感がある。2階建の事業所は、1階がデイサービス、2階が2ユニットのグループホームとなっている。デイサービスの利用者や地域の方との触れ合いの機会も多い。2つのユニットの間にある中庭は、利用者が花や野菜作りを楽しめる場所となっている。広々とした食堂や共用スペースは、明るい光が差し込み洗濯物をたたむ利用者や、調理している職員の姿も見えて家庭的である。職員は、理念の「やさしさと・おもいやり～否定はしません、まずは受け入れます～」をもとに、利用者のそれぞれの思いに寄り添いながら安心して生活出来る支援に努めている。

## V．サービスの成果に関する項目（アウトカム項目）　※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| | 項　目 | ↓該当するものに○印 | 取り組みの成果 |
|---|---|---|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる（参考項目：23,24,25） | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4. ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある（参考項目：18,38） | ○ | 1. 毎日ある |
| | | | 2. 数日に1回程度ある |
| | | | 3. たまにある |
| | | | 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている（参考項目：38） | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている（参考項目：36,37） | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている（参考項目：49） | | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている（参考項目：30,31） | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている（参考項目：28） | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている（参考項目：9,10,19） | | 1. ほぼ全ての家族と |
| | | ○ | 2. 家族の2/3くらいと |
| | | | 3. 家族の1/3くらいと |
| | | | 4. ほとんどできていない |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている（参考項目：2,20） | | 1. ほぼ毎日のように |
| | | | 2. 数日に1回程度 |
| | | ○ | 3. たまに |
| | | | 4. ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている（参考項目：4） | | 1. 大いに増えている |
| | | ○ | 2. 少しずつ増えている |
| | | | 3. あまり増えていない |
| | | | 4. 全くいない |
| 66 | 職員は、活き活きと働けている（参考項目：11,12） | ○ | 1. ほぼ全ての職員が |
| | | | 2. 職員の2/3くらいが |
| | | | 3. 職員の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | | 1. ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2. 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3. 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | | 1. ほぼ全ての家族等が |
| | | ○ | 2. 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3. 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4. ほとんどできていない |

## 自己評価および外部評価結果　　　　事業所名 甲府ケアセンターそよ風

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価(実践状況) | | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ユニット名(　なでしこ　) | ユニット名(　ふじざくら　) | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| **Ⅰ.理念に基づく運営** | | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 会社で作成した「そよ風憲章」があり、それに基づいて当そよ風の理念があり、GH独自の理念の基づいて意識の共有を図り実践している。 | 会社で作成した「そよ風憲章」があり、それに基づいて当そよ風の理念があり、GH独自の理念の基づいて意識の共有を図り実践している。 | 事業所独自の理念は、フロア会議・担当者会議などで折に触れて話し合っている、管理者は、日々のサービスの提供が理念から外れた場合は、原点に戻り意識して取り組むよう指導している。職員は、理念を共有して実践に繋げている。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 自治会活動に参加する為に自治会費を納め河川清掃に参加したり夏祭りに参加している。事業所の行事などの際には地域より物品を借用しご近所付き合いをしている。 | 自治会活動に参加する為に自治会費を納め河川清掃に参加したり夏祭りに参加している。事業所の行事などの際には地域より物品を借用しご近所付き合いをしている。 | 地域の夏祭りに参加したり、デイサービスの利用者と一緒の納涼祭・忘年会・敬老会・餅つき大会などの行事に、地域の方を誘っている。近所を散歩する時は、庭の花を見ながら話をするなどして地域との日常的な交流が出来ている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 自治会長さんとの関わりを持ち、老人会等のの集まりに出席し、認知症についての困り事等の相談に乗ったり、介護の疑問等相談に乗っている。 | 自治会長さんとの関わりを持ち、老人会等のの集まりに出席し、認知症についての困り事等の相談に乗ったり、介護の疑問等相談に乗っている。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 包括・地区民生委員・家族代表・GH職員で2か月に一度運営推進会議を実施し、そこで出た意見はすぐフロにおろしている。最近は看取りケアについて家族より感謝され看取りケア実戦の方向に向いている。 | 包括・地区民生委員・家族代表・GH職員で2か月に一度運営推進会議を実施し、そこで出た意見はすぐフロにおろしている。最近は看取りケアについて家族より感謝され看取りケア実戦の方向に向いている。 | 会議は2か月毎に開催している。細かい行事予定を知らせて欲しいとの意見や看取りの意味について質問があり、今後のサービス向上に活かす機会となっている。また、常に双方的な会議になるように努めている。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 最近の入所者に関しても、家族間の問題が考られた為、まず包括に連絡し地域ケアマネとの調整に関わってもらうなど、包括にまず相談するようにして、それでも解決できないような時は直接市役所に相談するようにしている。 | 最近の入所者に関しても、家族間の問題が考られた為、まず包括に連絡し地域ケアマネとの調整に関わってもらうなど、包括にまず相談するようにして、それでも解決できないような時は直接市役所に相談するようにしている。 | 入所時の困難事例や家族との関係が難しい利用者について、地域包括支援センターの担当者に実情を伝え相談に乗ってもらい一緒に問題を解決した。また、生活保護について市に相談するなど円滑な関係が出来るように努めている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束は行っていない。やむを得ない場合はご家族より了承をとり経過記録をとるようにしている。玄関の施錠は、玄関が交通量の多い道路に面している為、安全確保の面からやむを得ずにしている。希望があれば職員が付き添って外出している。 | 身体拘束は行っていない。やむを得ない場合はご家族より了承をとり経過記録をとるようにしている。玄関の施錠は、玄関が交通量の多い道路に面している為、安全確保の面からやむを得ずにしている。希望があれば職員が付き添って外出している。 | 車椅子の利用者は、数人いるが、利用者の安全を見守りながら拘束のない自由な生活を支援している。無断外出のある利用者は、一緒に外出し気持が落ち着くまで寄り添う支援をしている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている | 虐待に関する研修会には出席し伝達講習を行っている。センター内に身体拘束・虐待防止委員会を設置し、より良い介護に繋げられるようにしている。 | 虐待に関する研修会には出席し伝達講習を行っている。センター内に身体拘束・虐待防止委員会を設置し、より良い介護に繋げられるようにしている。 | | |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 権利擁護に関する研修会に管理者やスタッフが参加し、より良い介護に繋げられるよう勉強会などを適宜行っている。 | 権利擁護に関する研修会に管理者やスタッフが参加し、より良い介護に繋げられるよう勉強会などを適宜行っている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価(実践状況) | | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ユニット名（　　なでしこ　　） | ユニット名（　　ふじざくら　　） | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約の際は入居者、家族に充分に時間を取り納得がいくまで説明し、不明な点がないように理解してもらっている。入居後も不明な点があればその都度答えるようにしている。 | 契約の際は入居者、家族に充分に時間を取り納得がいくまで説明し、不明な点がないように理解してもらっている。入居後も不明な点があればその都度答えるようにしている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 日頃から利用者や家族とは意見交換をし易い雰囲気作りに心がけている。具体的には運営推進会議や家族会で出た家族の意見等は全体で共有し、運営に反映するようにしている。 | 日頃から利用者や家族とは意見交換をし易い雰囲気作りに心がけている。具体的には運営推進会議や家族会で出た家族の意見等は全体で共有し、運営に反映するようにしている。 | 面会時に利用者・家族の意見や要望を聞いている。年1回開催の家族会は、ほぼ全員参加で一緒に昼食を食べている。何でも言い合える雰囲気づくりに努めている。出された意見や要望は、職員で話し合い運営に反映させている。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 各部署のリーダーが集まるリーダー会議やGH各フロアで行われるフロア会議、全職員が参加する全体会議が行われ、職員の意見等聴き、皆で共有し運営に反映させるようにしている。 | 各部署のリーダーが集まるリーダー会議やGH各フロアで行われるフロア会議、全職員が参加する全体会議が行われ、職員の意見等聴き、皆で共有し運営に反映させるようにしている。 | 毎月1回、全職員が参加出来る夜にフロア会議を開催している。会議は意見や提案が言い易い場となっている。食事の介助者が増えて早出の勤務者作ったり、エアコンを買い替えるなどして会議の意見を運営に反映している。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 施設長・管理者等は各職員の良い面を把握し、より伸ばしていけるように声かけ・指導している。また各職員の労働条件など把握し、働やすい職場になるよう心がけている。 | 施設長・管理者等は各職員の良い面を把握し、より伸ばしていけるように声かけ・指導している。また各職員の労働条件など把握し、働やすい職場になるよう心がけている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | フロア会議、全体会議で適宜勉強会を開催している。また法人内外の勉強会にも積極的に参加してもらっている。資格取得も積極的に推進している。初任者研修取得希望者には勤務表作成時には休みを優先している。 | フロア会議、全体会議で適宜勉強会を開催している。また法人内外の勉強会にも積極的に参加してもらっている。資格取得も積極的に推進している。初任者研修取得希望者には勤務表作成時には休みを優先している。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 地域のケアマネの交流会や地域主催の学集会等への参加を促し交流を積極的に推奨している。また同法人内のセンターとは勉強会開催して情報交換などを行い交流を図っている。 | 地域のケアマネの交流会や地域主催の学集会等への参加を促し交流を積極的に推奨している。また同法人内のセンターとは勉強会開催して情報交換などを行い交流を図っている。 | | |
| **Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援** | | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 利用者本人とは納得がいくまで充分に話を行ない、不安が無いようにしたうえでサービスの導入をしている。 | 利用者本人とは納得がいくまで充分に話を行ない、不安が無いようにしたうえでサービスの導入をしている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 家族とも、サービスについて納得がいくまで充分に話を行い聴き、不明な点が無い状態で利用してもらっている | 家族とも、サービスについて納得がいくまで充分に話を行い聴き、不明な点が無い状態で利用してもらっている | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 利用者の意思を尊重し、必要があればデイサービスとの連携も図りその利用者が必要としている支援を見極め他のサービスも導入している。 | 利用者の意思を尊重し、必要があればデイサービスとの連携も図りその利用者が必要としている支援を見極め他のサービスも導入している。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 利用者の出来る能力やその時々の状態を見極め、利用者と共に茶碗を洗ったり、洗濯物をたたんだりしている。必要時職員が利用者の中に入り家族のような温かい関係が築けるようにしている。 | 利用者の出来る能力やその時々の状態を見極め、利用者と共に茶碗を洗ったり、洗濯物をたたんだりしている。必要時職員が利用者の中に入り家族のような温かい関係が築けるようにしている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価(実践状況) | | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ユニット名(　　なでしこ　　) | ユニット名(　　ふじざくら　　) | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 月に一回、利用者の生活ぶりを手紙等で報告している。入院した利用者が胃瘻を作りたくない意思を何とか医療関係者に伝えたいと家族と上手に連携をとる事ができ、無事にそよ風に退院する事が出来、喜んでもらえた。 | 月に一回、利用者の生活ぶりを手紙等で報告している。入院した利用者が胃瘻を作りたくない意思を何とか医療関係者に伝えたいと家族と上手に連携をとる事ができ、無事にそよ風に退院する事が出来、喜んでもらえた。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 面会は自由に行えるので、今までの友人や近所の方にも来て頂けるようにしている。馴染みの場所への支援は家族にも協力して貰いたいという観点から家族にもお願いしている。 | 面会は自由に行えるので、今までの友人や近所の方にも来て頂けるようにしている。馴染みの場所への支援は家族にも協力して貰いたいという観点から家族にもお願いしている。 | 利用者の馴染みの人や場所の把握は出来ている。植物の好きな利用者は、ベランダに季節の花を植えたり、観葉植物の水やりの管理を支援している。息子の送迎で同窓会に参加するなど利用者の今までの関係を大切に支援している。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者同士でうまく会話が出来ない場合は、職員が仲に入りスムースに会話が出来るよう気を配っている。仲が良い方は隣同士にする等配慮し、楽しく過ごせるように配慮している。 | 利用者同士でうまく会話が出来ない場合は、職員が仲に入りスムースに会話が出来るよう気を配っている。仲が良い方は隣同士にする等配慮し、楽しく過ごせるように配慮している。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | サービスが終了しても、必要があれば相談支援に応じている。 | サービスが終了しても、必要があれば相談支援に応じている。 | | |
| **Ⅲ．その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント** | | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 本人が希望が言える場合は家族とも相談し可能な限り希望を聴きいれる努力をしている。又希望が言えない方は今までの生活歴や家族からの情報収集を行い、ご本人の希望に添えるようなケアを心掛けている。 | 本人が希望が言える場合は家族とも相談し可能な限り希望を聴きいれる努力をしている。又希望が言えない方は今までの生活歴や家族からの情報収集を行い、ご本人の希望に添えるようなケアを心掛けている。 | プラン作成時、利用者・家族から思いや意向を聞いている。伝えられない利用者は、行動や声かけした時の表情から思いを察知している。「歩行訓練をしたい」「庭いじりがしたい」などの思いは、介護計画に活かして提供している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | これまでの生活歴や趣味、家族関係など極力情報収集を行い、ご本人の今までの暮らしぶりの把握をしGHでも家で過ごしている時と同じような生活が出来るようにしている。 | これまでの生活歴や趣味、家族関係など極力情報収集を行い、ご本人の今までの暮らしぶりの把握をしGHでも家で過ごしている時と同じような生活が出来るようにしている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 大まかな事(食事や入浴など)は決まっているが、後はあまり決まりを作らず、自由にのんびりと自分のペースで過ごせるようにしている。 | 大まかな事(食事や入浴など)は決まっているが、後はあまり決まりを作らず、自由にのんびりと自分のペースで過ごせるようにしている。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 月に一回のフロア会議で各利用者の担当者会議を行い、家族へはその都度情報の授受を行い、モニタリングや評価を介護者と共にして、介護計画に反映している。 | 月に一回のフロア会議で各利用者の担当者会議を行い、家族へはその都度情報の授受を行い、モニタリングや評価を介護者と共にして、介護計画に反映している。 | 新しく利用する際の介護計画は,1か月で見直している。支援経過記録などから利用者の状況を把握しフロア会議で話し合い、次の介護計画に反映させている。その後大きな変化がない場合は、3ヶ月毎に計画の見直しをしている。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 個人の記録には日々のトピックスや気になる事を記載し、後で読んでも分かるような記録にしている。また特に利用者の情報を職員間で共有したい時は引き継ぎノートなどもあり、さらに細かい情報を記載している。 | 個人の記録には日々のトピックスや気になる事を記載し、後で読んでも分かるような記録にしている。また特に利用者の情報を職員間で共有したい時は引き継ぎノートなどもあり、さらに細かい情報を記載している。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | その都度の希望には、柔軟に対応するようにしている。 | その都度の希望には、柔軟に対応するようにしている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価(実践状況) | | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ユニット名(　　なでしこ　　) | ユニット名(　　ふじざくら　　) | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 自治会長さんには困りごとを相談したり、なるべく近所のスーパーや薬やさん、郵便局などを活用して顔なじみの関係でいられるように努めている。 | 自治会長さんには困りごとを相談したり、なるべく近所のスーパーや薬やさん、郵便局などを活用して顔なじみの関係でいられるように努めている。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 在宅と同じ主治医に家族対応で受診してもらっているが、家族対応が困難な方の為、内科皮膚科の往診がある。病院受診する際に説明する必要のある時は職員対応で受診している。本人及び家族の意向を一番にしている。 | 在宅と同じ主治医に家族対応で受診してもらっているが、家族対応が困難な方の為、内科皮膚科の往診がある。病院受診する際に説明する必要のある時は職員対応で受診している。本人及び家族の意向を一番にしている。 | 内科、皮膚科の往診は、月1回ある。家族が受診同行の際は、病院受診連絡表にて、日常の様子を伝え、受診後は報告を受け介護記録に記録し職員で情報を共有している。利用者が適切な医療が受けられる様に支援をしている。 | |
| 31 | | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 医療連携加算を取っており、看護師が常勤で勤務している。必要に応じて看護師に相談し、適切な病院受診に繋げている。 | 医療連携加算を取っており、看護師が常勤で勤務している。必要に応じて看護師に相談し、適切な病院受診に繋げている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院する際には必ずサマリーを用意し、面会にも定期的に行き、病院関係者と情報の交換を行い、より適切な医療が受けられるように関係作りを行っている。必要に応じては医師も交えたカンファレンスを行っている。 | 入院する際には必ずサマリーを用意し、面会にも定期的に行き、病院関係者と情報の交換を行い、より適切な医療が受けられるように関係作りを行っている。必要に応じては医師も交えたカンファレンスを行っている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 看取りケアを行う方向で家族と話し合いを行っている。終末期のあり方を本人・家族の思いを尊重し、GHだけではなくセンタ内看護師の協力体制も整えている。往診<br>の内科医と連携し入院出来る病院の紹介などもしてもらっている。 | 看取りケアを行う方向で家族と話し合いを行っている。終末期のあり方を本人・家族の思いを尊重し、GHだけではなくセンタ内看護師の協力体制も整えている。往診<br>の内科医と連携し入院出来る病院の紹介などもしてもらっている。 | 看取りのマニュアルがある。これまでに看取りの経験はないが、本人・家族の意向を聞き、医師・常勤の看護師などと連携をとり、事業所が対応しうる最大の支援方法を踏まえて、看取りケアをしていく話し合いを行っている。身体的に重度になった場合は、対応が可能な事を家族に伝えている。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 全体会議などで急変時における対応等の勉強会を定期的に行っている。またその都度必要時フロアの看護師により勉強会を行っている。 | 全体会議などで急変時における対応等の勉強会を定期的に行っている。またその都度必要時フロアの看護師により勉強会を行っている。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 半年に一回、避難訓練を実施しその時により昼夜の設定をしている。また非常時もお願いはしており、協力が得られるようにしている。 | 半年に一回、避難訓練を実施しその時により昼夜の設定をしている。また非常時もお願いはしており、協力が得られるようにしている。 | 防災マニュアルを作成し、利用者と共に夜間想定を含めた避難訓練を年2回実施している。訓練後は、問題点を話し合い今後に繋げている。消防団に事業所を見てもらうなど地域との協力体制作りにに努めている。 | |
| **Ⅳ．その人らしい暮らしを続けるための日々の支援** | | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 一人ひとりのペースに合わせて無理強いはせず、ゆったりとした介護を心掛けている。利用者は一人の人格を持った方である事を充分理解し丁寧な声かけ、対応を心掛けている。 | 一人ひとりのペースに合わせて無理強いはせず、ゆったりとした介護を心掛けている。利用者は一人の人格を持った方である事を充分理解し丁寧な声かけ、対応を心掛けている。 | 理解力の進行度や育った環境も違うので、一人ひとりに合わせた対応に心がけている。誇りやプラーバシーを損ねるような言葉かけはしない。個人情報については、会社で年1回センター長の講義があり、全職員で認識している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 利用者自身がはっきり希望を表出できる方には希望を伺っているが、希望を言えない方にはキーパーソンに意見を伺うなどして、希望に沿った自己決定が出来るようにしている。 | 利用者自身がはっきり希望を表出できる方には希望を伺っているが、希望を言えない方にはキーパーソンに意見を伺うなどして、希望に沿った自己決定が出来るようにしている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価(実践状況) | | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ユニット名(　なでしこ　) | ユニット名(　ふじざくら　) | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 食事、入浴の時間は、職員の配置の都合で決まっているが、それ以外は本人のペースに合わせて生活出来るようにしている。 | 食事、入浴の時間は、職員の配置の都合で決まっているが、それ以外は本人のペースに合わせて生活出来るようにしている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | ご本人の希望に沿って、服装やおしゃれが出来るように支援している。一日の内、数回着替えをしたい利用者には見守りをしたり必要時付き添っている。 | ご本人の希望に沿って、服装やおしゃれが出来るように支援している。一日の内、数回着替えをしたい利用者には見守りをしたり必要時付き添っている。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 必要時、ミキサー食や刻み食に食形態を、その方に合った形態で提供している。お手伝い出来る方にはその方の状態に合わせて食器洗いや片づけを共に行っている。 | 必要時、ミキサー食や刻み食に食形態を、その方に合った形態で提供している。お手伝い出来る方にはその方の状態に合わせて食器洗いや片づけを共に行っている。 | 管理栄養士が献立を作っている。食材は時によって利用者と一緒に近くのスーパーに買いに行く。利用者はテーブルを拭く手伝い、おやつづくりの際は、飾り付けなどをしている。職員は利用者と一緒に会話をしながら食事の支援をしている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 献立は本社の管理栄養士が高齢者の栄養バランスを考慮した内容である。水分摂取量に問題のある利用者に関しては、好みの物の検討をしたり嚥下状態の見極めを行いトロミを付けたりしている。 | 献立は本社の管理栄養士が高齢者の栄養バランスを考慮した内容である。水分摂取量に問題のある利用者に関しては、好みの物の検討をしたり嚥下状態の見極めを行いトロミを付けたりしている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後、口腔ケアを行い出来ない所は手伝ったり、声かけを行っている。口臭のある利用者はいない。近所に歯科もあるので何か問題があれば、すぐに通院できるようになっている。 | 毎食後、口腔ケアを行い出来ない所は手伝ったり、声かけを行っている。口臭のある利用者はいない。近所に歯科もあるので何か問題があれば、すぐに通院できるようになっている。 | | |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄チェック表を活用し、一人ひとりにあったトイレ誘導を行い、トイレで排泄出来るようにしている。二人がかりでトイレで排泄ケアしている利用者もいる。 | 排泄チェック表を活用し、一人ひとりにあったトイレ誘導を行い、トイレで排泄出来るようにしている。二人がかりでトイレで排泄ケアしている利用者もいる。 | トイレでの排泄を大切に、排泄チェック表を使用して必要な支援を心がけている。夜間はポータブルトイレを使用する利用者もいる。。トイレは、各ユニットに3ヶ所あり、使いやすい手すりが付いている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 繊維質の多い食品を取ったり、水分を多く摂取している。それでも便秘がある場合には、主治医に相談し整腸剤や下剤などを処方してもらっている。 | 繊維質の多い食品を取ったり、水分を多く摂取している。それでも便秘がある場合には、主治医に相談し整腸剤や下剤などを処方してもらっている。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 入浴は元気な方でも転倒などの危険がある為、時間だけは職員の多い時間帯ときめている。 | 入浴は元気な方でも転倒などの危険がある為、時間だけは職員の多い時間帯ときめている。 | 入浴は、隔日で午後2時30分から4時30分が基本であるが利用者の体調や状況によって柔軟に対応している。浴槽が2槽あり、仲良しの2人や夫婦が一緒に利用出来る。入浴を拒否された時は、無理せずに時間をずらすなどの工夫をしている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 就寝時間も各自の自由だが、夜間不眠で困っている方などには精神科を受診して頂きその方に合った眠剤など処方してもらっている。 | 就寝時間も各自の自由だが、夜間不眠で困っている方などには精神科を受診して頂きその方に合った眠剤など処方してもらっている。 | | |

| 自己 | 外部 | 項　目 | 自己評価(実践状況) | | 外部評価 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ユニット名（　　なでしこ　　） | ユニット名（　　ふじざくら　　） | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 47 | | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬の説明書などしっかり読み、何の薬か把握するようにしている。薬の効果や副作用を見極め看護師に相談し、必要時医師に情報の提供をしている。 | 薬の説明書などしっかり読み、何の薬か把握するようにしている。薬の効果や副作用を見極め看護師に相談し、必要時医師に情報の提供をしている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | ご本人の得意な事は積極的にやって頂くようにしている。認知症があり出来る事に限りがある為、その時々の本人の行動や思いに添えるように職員は励ましたり手伝ったりしながら支援している。 | ご本人の得意な事は積極的にやって頂くようにしている。認知症があり出来る事に限りがある為、その時々の本人の行動や思いに添えるように職員は励ましたり手伝ったりしながら支援している。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 天気の様子を見ながら散歩を行っている。<br>季節毎の外出は普段行けない所へも車椅子の方も含め、全員が行くようにしている。 | 天気の様子を見ながら散歩を行っている。<br>季節毎の外出は普段行けない所へも車椅子の方も含め、全員が行くようにしている。 | 毎月１回各リーダーが計画を立て、初詣や桜見物などの戸外や、外食などに出かけている。天気が良い時は、午前中日光浴を兼ねて近くを散歩している | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | お金を自分で管理したい利用者もいる事から家族にも理解してもらい、自己管理出来るように支援している。金銭管理できない利用者には、事務所の金庫で一括管理している。 | お金を自分で管理したい利用者もいる事から家族にも理解してもらい、自己管理出来るように支援している。金銭管理できない利用者には、事務所の金庫で一括管理している。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 電話や手紙の希望があればいつでも支援しています。 | 電話や手紙の希望があればいつでも支援しています。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用スペースには季節感のある装飾をし、温度も適温になるように気をつている。車椅子の方も多いので通路は余分な物を片づけて広々とした雰囲気となるよう心掛けている。 | 共用スペースには季節感のある装飾をし、温度も適温になるように気をつている。車椅子の方も多いので通路は余分な物を片づけて広々とした雰囲気となるよう心掛けている。 | 明るい日差しが差し込む広々としたフロアは、木製の大きなテーブルがあり、食事作りの匂いや音が五感を刺激している。乾燥する季節のため、大きな加湿器が2台置いてあり、健康面にも配慮し居心地良く過ごせるよう努めている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 共用スペースには一人ひとりになれる空間はないが思い思いに各自で過ごし、利用者同士でも楽しくしている。 | 共用スペースには一人ひとりになれる空間はないが思い思いに各自で過ごし、利用者同士でも楽しくしている。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご本人の使い慣れた家具などを持ち込んで頂き、家にいる時と同じようにリラックスして過ごして頂けるようにしている。 | ご本人の使い慣れた家具などを持ち込んで頂き、家にいる時と同じようにリラックスして過ごして頂けるようにしている。 | エアコンと埋め込み式の大きなタンス以外は、利用者の好きな物を自由に持ち込んでいる。カーテン・ベッド（レンタルもある）藤の椅子・テレビ・自分の作品などで利用者好みの部屋作りが出来ている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | GHの玄関は安全面を考慮して中からは出られないようになっているが、共用スペースや各居室などはバリアフリーで自由に行き来が出きるようになており、思い思いに過ごしている。 | GHの玄関は安全面を考慮して中からは出られないようになっているが、共用スペースや各居室などはバリアフリーで自由に行き来が出きるようになており、思い思いに過ごしている。 | | |